

伊勢市教育研究所

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

E-mail: kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

第4号

たよ町



平成 27 年 7 月 31 日
伊勢市教育研究所
伊勢市小俣町元町 540 番地

進化するなでしこ

伊勢市教育研究所長 山口 茂樹

サッカー女子ワールドカップが終わりました。

私は、なでしこジャパンの試合に目が釘付けになりました。「アメリカは強かった」という思いが残りました。でも、なでしこジャパンが2大会連続で決勝まで勝ち進んだことは価値あることだと思います。「野球で言ったら、ワールド負け」なんて酷評をした人もいますが、「何言ってるの」って感じです。国際大会ということ考えると、国民の期待はけた外れのものがあり、その期待に応えなければという意識も強かったはずですが、その重圧を少しも感じさせずに（本当はあったのかもしれませんが）、むしろ笑顔でサッカー自体を楽しんでいるなでしこジャパンの姿に感銘を受けました。

また、海外メディアは、「今大会もっとも美しいサッカー」と女子ワールドカップカナダ大会で活躍するなでしこジャパンを絶賛したそうです。戦いぶりに目を向けると、グループリーグではちぐはぐなプレーをしていたなでしこが、決勝トーナメントでは、互いの距離感を保ちながら、小気味いいパスを回し、守備も前線から連動していたと戦いぶりを変えたと言われています。この変化のきっかけは話し合いだったそうです。決勝トーナメントまでの1週間に「テンポ良く」をテーマに話し合い、意思統一をしたと聞きました。

私は、この話し合いを通してチームの意思疎通を図り、チームの立て直しを図ったなでしこのチーム力に敬意を払いたいと思いました。このことは、学校現場にも言えることではないでしょうか。チーム〇〇学校として、学校教育目標に向かって、教職員が心を一つにして、対話を重視して取り組んでいけば、伊勢市教育員会のめざす学校像「子どもがかがやき 学びあう学校」になるに違いないと思います。

さて、長期休業に入っています。先生方におかれましては、今までの疲れを癒していただきますとともに、研究所の講座にご参加いただき、エネルギーの充填をしていただけたらと思います。

★夏季休業中の研修講座は14講座あります。締切日以降も定員に余裕があれば、申込を受け付けますので、研究所まで御連絡ください。

(TEL 0596-22-7900 まで)



まどに樂がき いいかんじ！

平成 27 年 6 月 15 日（月）、東京未来大学教授 鈴木光男さんをお招きし、教職員研修講座（授業づくり：図画工作科）を開催しました。この講座では、伊勢市立四郷小学校 3 年生児童を対象に授業をしていただきました。

授業の単元名は、「まどに樂がき いいかんじ！」です。子どもたちにとって、窓に好きな絵を描ける授業なんて初めてです。にこにこしながら自らの思いをもとにした表現を楽しんでいました。そのうちに、友だちと楽しそうに相談したり、協力したりしながら、協働して描き始めたグループもありました。

授業後は、演題を「21 世紀型スキルを伸ばす図画工作科への転換」として御講演いただきました。鈴木先生は、伝授・伝達型の学習モデルから転換した、よりよい表現を求める創造型の学習モデルについて話してくださいました。また、図画工作科における「アクティブラーニング」「21 世紀型スキル」について、お話しいただきました。

以下は参加された方のアンケートの一部です。

- ◆窓に絵を描いている子どもたちは、本当にのびのび、生き生きしていた。これまでの図工の指導は、作品を作り上げることに主眼を置いていたのではないかと反省した。今後は、「何を教えるか」ではなく、「どんな力をつけたいか」「どんなことをできるようにしたいのか」ということを意識していきたい。
- ◆窓の向こう側にいる子どもたちが、真剣な顔をして、線を引いていました。引いたあとに、にっこりと笑って、首を「うんうん」とうなずかせながら、次の色に取りかかっていました。ああ、子どもはこんな顔をして絵を描くのだなあと、じんときました。窓のこちら側にいる私たち参観者もみんな笑っていました。絵のすきまから、子どもたちも大人の顔を見ていたでしょう。楽しんで描いて、いい安心感と幸福感が教室を包みこんでいるように思いました。



発見！「窓を重ねる
ときれいだ」



自分たちの作品に
満足そうな児童



子どもたちの振り返りカードから

- ◆いろいろな色をつかってサメをかいて、楽しい気分になった。
- ◆明るく元気よくかけた。
- ◆みんなでかけてうれしかった。二人でかけた。
- ◆自由にかけたし、みんなの絵がきれいで、すごいアイデアだった。
- ◆花火の絵をかきました。きれいにかけたので一番楽しかったです。
- ◆まどに絵をかいたことが生まれてはじめてで、こんな自由な図工ができて楽しかった。
- ◆みんなの絵をつなげてみたらきれいだった。
- ◆夏をかいている子がいて、花火のはく力があつたから、すごかった。
- ◆2つのチームで春と夏が重なっていたことがすごかった。
- ◆「重ねて絵を見るといい」と思った友だちがいいなと思った。
- ◆みんなのかいた絵がすごかった。
- ◆みんながちがう絵を描いていて、1つ1つのまどが色とりどりにになりました。

【鈴木先生の資料より（一部）】

感性と
創造性を
ひらく
美術教育を！

感性と創造性をひらく美術教育

感性

創造性

美意識

子どもの
思いや願い

遊び心

子どもの文化
遊び・つくる・挑む

自発性・主体性

自発的・主体的



開 展

自然発生的な表現を

あるがままに受け止めるところから、
その子ならではの主体的な表現の展開と
その題材の価値に触れるところまで、
如何にして開展となる指導をするか？



四郷小学校 3年生の描いた絵



教育支援センター「NEST」から



体験活動をふりかえって【4月～7月】

伊勢市教育支援センター「NEST」では、日々の活動のほかに月に1回のペースで体験活動を実施しています。さまざまな体験活動を通して、通級生同士はもとより、多くの人との心の交流を深めたり、普段できないことを体験して、豊かな心を育てたりすることがねらいです。また充実感を味わい、自信をつけることによって、前に一步踏み出す力へとつなげてほしいと考えています。

潮干狩り【5月 伊勢市大湊海岸】



五月晴れのさわやかな日に、通級バスに乗って潮干狩りに行ってきました。長靴やビーチサンダルに履き替え、「大きなハマグリをとるぞー!!」と意気込みましたが、ハマグリはなかなかとれず・・・

途中から、砂浜の穴を見つけて塩をふりかけるとニョキッと出てくるマテ貝採りに夢中になりました。広がる海とさわやかな風が子どもたちの心をほぐし、開放的な気分を味わうことができたようです。



陶芸教室【6月 NEST伊勢教室】

アトリエブシケの坂口さんを講師に招き、陶芸にチャレンジしました。坂口さんの説明をしっかりと聞いて、みんな一生懸命作りました。発想豊かな作品を集中して作っている子、優しいまなざしで家族の茶碗や皿を作っている子・・・

それぞれに楽しんで取り組んでいました。後日焼き上がった作品が届き、子どもたちは満足気な表情で自分の作品を眺めたり、手に取ったりしていました。



調理体験【6月 多気町 高校生レストラン「まごの店」】

相可高校教諭 村林新吾さんに指導していただき、「楽しい西洋料理とフルーツゼリー」というテーマで調理実習をしました。

当日は、高校生レストラン「まごの店」も営業しており、開店までの準備や朝礼の様子も見せていただくことができ、貴重な体験となりました。調理には、相可高校食物調理科調理クラブの生徒の指導のもと、牛肉のボスカイオーレやサーモンカツレツなどを協力して作りました。

生き生きと活躍している高校生の姿を目の当たりにし、また自分たちが作った料理をおいしく食べて、充実した時間を過ごすことができました。



パンづくり【7月 大台町 奥伊勢ファレストピア】

奥伊勢フォレストピアのパン工房でパンづくりを体験しました。

材料を混ぜ、自分のパン生地をこねるところからスタートします。力も結構必要で、最初はなかなか上手くこねることができませんでしたが、だんだんコツをつかんでくると余裕も出てきて、子どもたち同士の会話も弾んでいました。こねたパン生地に、お好みでハムやチーズ、レーズンなどを入れて自分の好きな形にしました。

パンが焼きあがるまで、近くの川まで散歩しました。少し天気が悪かったのですが、きれいな清流と深い緑に囲まれて、楽しい時間を過ごしました。焼き上がったパンはとってもおいしく、子どもたちも大満足でした。

